

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DE849Bシリーズ

ダイアボンドDE849Bシリーズは、建材関係パネル類の接着組立に適したノンホルムアルデヒド仕様の2液形常温硬化性エポキシ樹脂系接着剤です。可使時間が長いのでロールコーター塗布作業が可能です。(冬季は、硬化が速いDE849BW硬化剤の使用をお薦めします。)

§ 用途

1. 建材関係パネルの接着組立て

塗装鋼板, FRP, フォーム類, ハニカムコア類, 合板, 無機ボード等

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

| | DE849B 主剤 | DE849BL 硬化剤 | DE849BF 硬化剤 | DE849BW 硬化剤 |
|------------------|----------------------|----------------|----------------|----------------|
| 主成分 | エポキシ樹脂 | ポリアミド樹脂 | ポリアミド樹脂 | ポリアミド樹脂 |
| 外観 | 淡青色 | 黄白色 | 黄白色 | 黄白色 |
| 不揮発分 (%) | 100 | 96 ± 1 | 96 ± 1 | 96 ± 1 |
| 粘度 (mPa·s) at20℃ | 2万~4万 | 0.8万~1.6万 | 0.8万~1.6万 | 0.8万~1.6万 |
| 混合比 (重量) | 主剤 : 硬化剤 = 100 : 100 | | | |
| 可使時間 (分) at20℃ | | 90 [1kg 混合] | 60 [1kg 混合] | 30 [1kg 混合] |
| 硬化時間 (時間) at20℃ | | 16 | 12 | 10 |
| 保証期間 (月) at25℃ | 12 | 12 | 12 | 12 |

§ 温度と可使時間・硬化時間の関係

| 温度 | DE849BL | | DE849BF | | DE849BW | |
|-----|------------------|------|------------------|------|------------------|------|
| | 可使時間 [1kg 混合] | 硬化時間 | 可使時間 [1kg 混合] | 硬化時間 | 可使時間 [1kg 混合] | 硬化時間 |
| 5℃ | 180分 | 36時間 | 120分 | 24時間 | 80分 | 18時間 |
| 10℃ | 120分 | 24時間 | 90分 | 16時間 | 60分 | 14時間 |
| 20℃ | 90分 | 16時間 | 60分 | 12時間 | 30分 | 10時間 |
| 30℃ | 60分 | 10時間 | 30分 | 9時間 | 20分 | 8時間 |

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の錆やゴミ、水分、油汚れなどを除去し、清浄にします。
アルミニウム板やステンレス板は、グラインダー処理したのちアセトンを浸した布で拭きます。
2. 計量・混合 事前に主剤と硬化剤各々を缶の底に沈降物がなくなるまで攪拌して下さい。
混合比は、主剤：硬化剤=100 対 100 (重量比)。
攪拌混合は、主剤・硬化剤が均一になるまで、充分に行って下さい。
可使時間内に、使いきれの量を混合して下さい。特に夏季は、可使時間が短くなるので注意して下さい。
3. 塗 布 混合後の接着剤を可使時間内に塗布して下さい。
塗布方法：ロールコーター、ヘラ、クシゴテ
塗布量：平滑面 (金属板、合板など) 150~250 g/m²
粗面 (ハニカムコア、フォーム類) 400 g/m² 以上
* 塗布量は、均一に塗布された場合の理論量ですので、実際には、安全を見て多目に塗布して下さい。
4. 貼り合わせ 直ちに貼り合わせて下さい。
5. 加圧・養生 貼り合わせ後 1 時間以内にプレス養生を行って下さい。
プレス圧：0.02~0.05 MPa を標準としますが、被着材に応じて決定して下さい。
* 外気温 10 °C 以下での養生は、硬化不十分となりますので、10 °C 以上に加温して 養生を行って下さい。

§ 接着性能

1. 引張りせん断接着強さ

(MPa)

| | 常態 (96 時間) | 耐熱 (80°C) | 熱老化(70°C・96 時間) |
|----------|------------|-----------|-----------------|
| アルミ板相互 | 17.9 | 4.5 | 18.3 |
| ステンレス板相互 | 18.5 | 4.7 | 19.7 |

表面処理：サンドペーパー#60 で、サンディング後、アセトンを浸した布で拭く。

試験方法：JIS K 6850 に準ずる

2. L 形はく離接着強さ

(N/50mm)

| | 常態 (96 時間) | 耐熱 (80°C) | 熱老化(70°C・96 時間) |
|---------------|------------|-----------|-----------------|
| 塗装鋼板／合板 | 115 | 45 | 95 |
| 塗装鋼板／スチレンフォーム | 44 * | 38 * | 39 * |

*：スチレンフォームの破壊

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

§ 注意事項

- ・使用可能時間は、気温や混合量によって異なります。混合量は、可使時間内に使い終える量にして下さい。
- ・保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・接着剤のはみ出し部は、硬化する前に取り除いて下さい。
- ・容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・使用器具の洗浄には、トルエンをご使用下さい。
- ・作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋を着用して下さい。
- ・容器から出し入れする時は、こぼれないようにして下さい。容器からこぼれた場合には、布でふき取り、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- ・作業着などに付着した場合には、その汚れを良く落として下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けて下さい。
- ・蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。